



改革を進めています

— 健全で効率的な運営を目指して —

外郭団体・第三セクター

競争力を強化中

市では、行財政改革の一環として、「外郭団体・第三セクター」の改革を促進しています。また、外郭団体・第三セクターでも、市から独立し、自主的にきめ細かなサービスを提供する団体運営を目指し、改革を進めています。その改革により、一部の団体からは、市へ利益を還元するなどの効果を上げています。

今の特集では、改革が進む深谷市の「外郭団体・第三セクター」について取り上げます。

外郭団体・第三セクター（3ページ）の用語解説参照）は、一般的に、国や地方公共団体の施策推進に際して、補充、代替または支援する組織として、多様化する住民のニーズに対応するために設立されたものです。設置者が国や地方公共団体であったことから、これまでは競争性も乏しく、比較的保護されていた面が見受けられました。そのことで、「お役所的」との批判もありました。

しかし、近年、設置者である国や地方公共団体と、外郭団体・第三セクターとの関係に変化が生じています。国や地方公共団体は、

指定管理者制度の導入などにより、低価格で質の高いサービスを求めるようになった結果、外郭団体・第三セクターも民間との競争の場に立つような状況になっています。

深谷市にも、市が出資したり、補助金を出したりして、市政を補完する業務を行う外郭団体・第三セクターがあります（ここでは、代表的な団体を紹介します。なお、団体名・組織概要については、3ページ図1の通りです）。

市では、1市3町の合併の特例措置による国からの交付税が、平成28年度から段階的に減額となる

ことや、景気の低迷による税收減などを見据えて、職員総人件費の削減や補助金、使用料などを見直すなどして行財政改革に努めています。また、市が設置した外郭団体・第三セクターに対しても行財政改革を波及させるため、各団体の財政状態を把握し、指導・助言を行いながら、人的・財政的支援の縮減を図ってきました。

さらに、今年度、グリーンパーク・パティオや深谷ビッグタートルなどの大規模集客施設は、公募により来年度からの指定管理者を決定します。これにより、民間の会社などが施設の管理・運営に参入できる機会を設けることで、競争性を確保することができそうです。

これらの市の仕組みづくりにより、外郭団体・第三セクターは、競争力を高めるため、内部からの改革も進めています（詳細については、4・5ページで紹介しています）。

今後は、外郭団体・第三セクターがさらに自立して、市民ニーズに的確に対応できるような体制づくりを計画的に推進していきます。

用語解説

外郭団体
国や地方公共団体などの行政機関の外部にあって、行政機関と連携を保ちながら、その活動や事業を助ける団体のこと。財団法人、社団法人、株式会社など、多様な形態があるが、行政機関からの出資や補助金の交付などの財政的な援助、職員の出資や補助金の交付などの財政的な援助、職員の派遣による人的援助を受けることが多い。

第三セクター
国や地方公共団体の公共部門（第一セクター）と民間部門（第二セクター）との共同出資で設立された法人をいう。

指定管理者制度
従来、公の施設の管理は、地方公共団体の出資法人などに限定して委託が可能であった。しかし、平成15年の地方自治法改正により、地方公共団体が指定する民間事業者にも管理を代行させることが可能になった。

図1 深谷市の代表的な外郭団体・第三セクター

名称	組織概要
おかべ物産観光株式会社 (平成9年1月23日設立) 有限会社はなぞの (平成10年2月27日設立)	道の駅は、地域の創意工夫により道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供する施設で、市と国・県が連携し展開しています。市内にも道の駅があり、おかべ物産観光株式会社が「道の駅おかべ」の、有限会社はなぞのが「道の駅はなぞの」の管理・運営を行っています。
深谷市観光協会 (平成5年10月14日設立)	深谷市における観光事業の振興と地域の活性化を図るため、「深谷まつり」や「ふかや七夕まつり」などの主催事業のほか、「ふかや花フェスタ」や「深谷市産業祭」などの協賛事業や、観光マップ・情報誌の発行などの観光紹介事業を展開しています。
社会福祉法人 深谷市社会福祉協議会 (平成18年3月27日設立)	民間組織としての自主性と広く市民や社会福祉関係者に支えられた公共性という、2つの側面を併せ持つ組織です。市民の福祉ニーズに応えるため、共同募金活動、ボランティアセンターの運営、在宅福祉サービス事業者としての取り組みなどを展開しています。
財団法人 深谷市施設管理公社 (平成3年2月4日設立)	地域コミュニティ活動、文化活動、スポーツ・レクリエーション活動の振興を図るため、市が設置するグリーンパーク・パティオや深谷ビッグタートル、深谷市民文化会館などの諸施設の管理・運営を行っています。
社団法人 深谷市シルバー人材センター (平成18年4月1日設立)	長年培ってきた豊かな経験と能力を生かし、就業を希望する高齢者に社会参加促進の方策として、就業の機会を確保・提供しています。今後、団塊世代の退職の増加に伴い、深谷市シルバー人材センターの果たすべき役割はますます重要になってきます。

「人・物・金」すべてにメス

市の指導の下、外郭団体・第三セクターも、市と連携して改革を推進しています。改革により、「おかへ物産観光株式会社」および「有限会社はなその」については、市へ利益を還元する効果も出ています。また、外郭団体の補助金・交付金と正職員数が縮減されています（5ページ図2の通り）。ここでは、各団体の取り組みについて取り上げます。

市へ利益を還元、合併も

■おかへ物産観光株式会社
■有限会社はなその

改革点●前年度「おかへ物産株式会社」と「有限会社はなその」の経営状態を考慮し、市との協定内容を見直しました。

これにより、市からは、2事業者へ指定管理料を支払いますが、2事業者の収入の一部を受け取ることで、前年度より減りました。その結果、今年度は、前年度と比べ約1,600万円の増収が見込まれています。

また、今年度中に、さらなる施設の充実およびサービスの向上を図るため、「道の駅おかへ」および「道の駅はなその」の売り場をリニューアルします。さらに、今後、駐車場の拡張も予定しています。

今後は、道の駅の管理・運営を通じた地域の各種商品の販売・振興と、同じ役割を果たす2事業者が、さらに効率的で安定した会社運営を図るため、合併の方向で協議していく予定です。

法人格を取得し新展開中

■深谷市観光協会

改革点●市から自立し、健全で効率的な体制を構築するため、今年度、観光協会の法人化を進めてきました。

平成23年度総会では、新法人の設立と定款、役員提案に対して承認を得ました。また、名称を「一般社団法人深谷市観光協会」として、6月に法人登記が完了しました。今後は、観光協会を営利型法人として運営し、収益事業の展開・拡大を図っていくと考えています。

市との事務分担の見直しも

■社会福祉法人深谷市社会福祉協議会

社会福祉協議会は、地域の福祉活動の中核的役割を担っています。地域福祉を守りながら、改革を進めていきます。

改革点●人件費や事務費の削減など、内部の効率的な運営を進める一方で、市との事務分担についても見直しを行っています。

具体的には、地域と市をつなぐ重要な役割を果たす民生委員や日本赤十字社の活動に関する事務を市に一元化することなどを検討して、より円滑に地域福祉の振興が図れるよう計画しています。

■財団法人深谷市施設管理公社

利用者の声を生かした運営を

とが明記されていることから、シルバー人材センターの運営費の一部は、国や市からの補助金で賄われています。しかし、近年の財政状況を受け、国からの補助金が大幅に削減されています。

改革点●正職員の採用を控えるなど、人件費の削減を図っています。また、10月からは4つの事務所を1つに統合し（関連記事：20ページ）、事務所経費の削減にも取り組んでいます。

さらに、指定管理に参入し、新規事業を展開する方向で進めるとともに、営業活動も強化していきます。

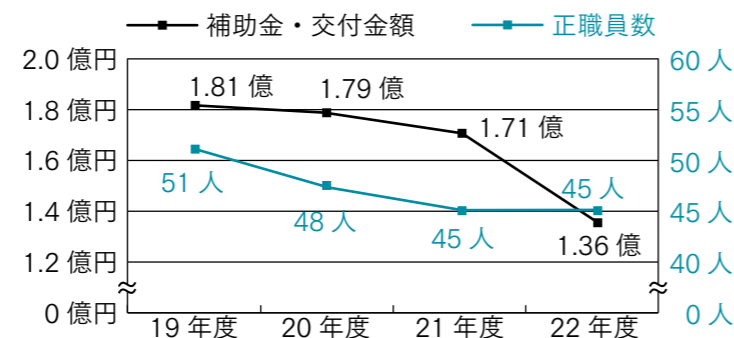


図2 外郭団体の補助金・交付金額と正職員数の推移
観光協会・社会福祉協議会・施設管理公社・シルバー人材センターの補助金・交付金額および正職員数の推移

事務所統合、新規事業参入へ

■社団法人深谷市シルバー人材センター

法律で、国と地方自治体が高齢者の就業の機会を確保するための措置を講ずるよう努めること

改革を推進中



深谷市長 小島 進

地方自治法の改正によって創設された「指定管理者制度」は、広く民間の参入を可能にした改革の1つであります。

現在、公の施設の維持管理業務を市から受託している団体は、新たな行政サービスの担い手として、指定管理者制度にも十分対応可能な体制整備が早急に求められています。

こうした体制整備が、住民サービスの低下を招かないよう十分配慮しながら、今後どのような形の外郭団体・第三セクターが市民にとって有益な存在なのかということを常に念頭に置いて、改革を進めていきます。

おトク情報

シルバーさんに頼むとおトクです

深谷市シルバー人材センターに登録しているシルバーさんは、1,246人（男性904人・女性342人平成23年3月31日現在）。毛筆によるあて名書きからペットの世話、障子の張り替え、除草作業など、さまざまな仕事を頼むことができ、格安でサービスが受けられます。例えば、大掃除もお得な値段でやってもできます。詳しくは、お問い合わせください。



問い合わせ 深谷市シルバー人材センター（☎573-3345）

割引券を使うとおトクです

市役所本庁舎をはじめ、総合支所や公民館で、パティオ2割引券を配布しています。

この割引券は、市民のかたであれば、一度の申請で10枚までお持ちいただけます。

また、継続してパティオをご利用されるかたには、お得な「個人会員」がおススメです。



問い合わせ グリーンパーク・パティオ（☎574-5000）